

デジタル技術で便利! 快適!

スマートシティ 作戦

マルチモノモリオカが進める
3つの取り組み



デジタル人材の育成

企業の人たちがプログラミングなどを学ぶ「デジジュク」や、学生を対象に未来技術を使ったアイデアコンテストを開催し、デジタル人材の育成を支援。



未来技術を使ったチャレンジをサポート!

未来技術を使い、盛岡発の新たな事業を生み出す実証実験*に、資金の補助と関係企業同士のマッチングを支援。
※実際の利用環境に近い状況下で、製品・サービスの有効性を検証するものです。市民の皆さんから意見を募ることもあり、より良い社会の形成に生かされています



未来技術やDX**に関するイベント開催

企業などを対象に未来技術に関するセミナーと、異業種の人と交流をしながら未来技術について学ぶ学習交流イベントを開催。
※デジタルトランスフォーメーション: 未来技術などを利用した新たなビジネスモデルの創出などを根本から変革させること

この「MULTI MONO MORIOKA」の取り組みは、内閣府スマートシティ関連事業（未来技術社会実装事業）として選定され、**国からも先進事例として期待されています。**

盛岡は未来技術で発展する可能性を持つ都市だと考えています。未来技術を使って事業を展開しようとする人たちに「夢やアイデアが盛岡で実現できる」ということを知ってもらいたいですね。「新しい技術を使った挑戦が盛岡でできる」という文化を根付かせ、

同じ志を持つ人を盛岡に集めたいです。



市と共同で取り組みを運営する(株)ネクスト
なほひろ 重輝さん

デジタル人材の育成

学生が未来技術の活用方法を発想!



県内の企業・教育機関・行政が連携して開催する、デジタルをテーマとした学生向けのアイデアコンテストが「デジコン」です。AI*1やIoT**などのデジタル技術を使った、身近な問題を解決するための自由なアイデアを募集。今回は47チームの応募がありました。

*1 人工知能
*2 モノがインターネット経由で通信すること

応募してよかったこと!

- 県内で動くプロにアドバイスがもらえる
- 自分のアイデアを形にできる

INTERVIEW | デジコン参加者の皆さん

なにげない日常生活の中にも、よりよい生活のヒントが多くあると感じ、「食品ロス削減は企業にとってはチャンスロス」という視点から、重量センサの仕組みを利用した商品管理システムのアイデアを考えました。また、専門家の皆さんを前に自分たちのアイデアを発表するのはとても緊張しましたが、貴重な経験になりました。

チーム「緑風」
吉田 瑤希さん(左・大原学園2年)
近藤 涼介さん(右・大原学園2年)



私たちの考えたアイデアは「南部鉄器」をレンタルするビジネスプランです。お試しで気軽に使ってもらうことで、より多くの人に南部鉄器の魅力を伝えることができ、さらに購入してもらえば生産者の利益にもなる。コンテストを通して未来技術の活用を考える中で、伝統工芸品の価値を再認識することができました。

チーム「つぶあん」
野里 春香さん(左・県立大4年)
工藤 諒太さん(右・県立大4年)



未来技術を使ったチャレンジをサポート!

未来技術を活用して社会課題を解決

市内企業の「強み」と「未来技術」を掛け合わせた、新たな事業へのチャレンジを支援しています。これらの事業を社会に広げることがさまざまな社会課題の解決につながり、私たちの暮らしがより豊かなものになっていきます。

自分の体調データがみんなの健康に役立つ

実証実験事例1 エーピーテック(株) AP TECH(株)
スマートウォッチで脈拍や血圧などのデータを測定し、服薬情報を連動させることで、薬が体に与える影響の度合いの把握につなげます。さらに、個々のデータを蓄積・分析することで、不特定多数の人の異常の予兆を察知したり、離れて暮らす家族の健康を見守るなどといった、**新たな医療やヘルスケアのシステム構築を目指しています。**

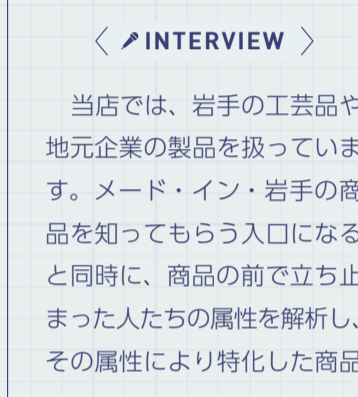


エーピーテック(株) AP TECH(株) 大西 一朗さん

病気になる前から治療するのではなく、病気になるための手段として、日々実現に向けて取り組んでいます。社会になかった取り組みを社会全体に浸透させるにはどうすればいいかが、大きなハードル。盛岡のさまざまな人と協力して乗り越えていきたいです。

手ぶらで気軽にお買い物

実証実験事例2 マノルダ manorda いわて(株)
デジタル技術を活用したスマートストアを開業。店内には岩手の特産品などが展示され、商品横の二次元コードを読み取って購入するシステムです。商品は後日自宅に届くので、**持ち帰る手間がなく、買い物を手軽に楽しめます。**また、店内のAIカメラが購入データを分析し、出品者に還元。**商品マーケティングや新商品の開発などに役立ちます。**



エーゼットエスエムコネクテッドカフェ マノルダ manorda いわて(株) 幅下 貴文さん

づくりの提案などができます。未来技術で、地域の産業をより元気にすることを目指しています。

店舗情報 AZUMI CONNECTED CAFE manorda いわて店(中央通一) 営業時間: 平日 10時~18時

誰でも教育が受けられる場を創りたい

実証実験事例3 ドアーズ(株) doors
市内茶畑のビル「チャバタケ doors」で塾などの学びの場に加え、デジタル上の仮想空間「メタバース」でも学びの場を提供しています。インターネットの環境があれば、誰でもメタバース上で教育を受けられるようになり、**教育格差の解消や引きこもりの子どもたちの「新たな学びの場」としての展開が期待できます。**



ドアーズ(株) doors 八木 禪さん(左) 柴田 康正さん(右・岩手大4年)

さまざまな理由で学校に行けない子どもたちに、メタバース上で、「学校に通う人々と変わらない、あるいはそれ以上の学習ができる」という機会を提供したいです。この事業が「盛岡発」として全国に普及することを目指し、取り組んでいます。

施設情報 チャバタケ doors(茶畑二) 営業時間: 9時~21時



未来技術やDXに関するイベント開催

誰でも参加出来ます

興味がある人はぜひ参加を!

学生でも! 社会人でも!

MULTI MONO MORIOKA では、毎月1回程度、未来技術やDXに関するセミナーや、交流イベントを開催しています。「DXって言葉を最近聞くけどよく分からない」「興味のあるデジタル技術をもっと学んでみたい」と思っている人は、**ぜひ一度参加してみてください。**



問・申し込み (株)ネクスト ☎ 625-2383



未来技術が、より暮らしやすい盛岡を作る



今後、紹介した事業が展開されていくと、盛岡はより便利で暮らしやすい街になっていくことが期待できます。盛岡の企業や人材が、新たな取り組みにチャレンジするための「交流の場」を、市は全力で支援していきます。